

高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫の 発生状況、防疫対応について

平成 27 年 3 月
農 林 水 産 省
消 費 ・ 安 全 局

今冬の高病原性鳥インフルエンザ(家きん)の発生について

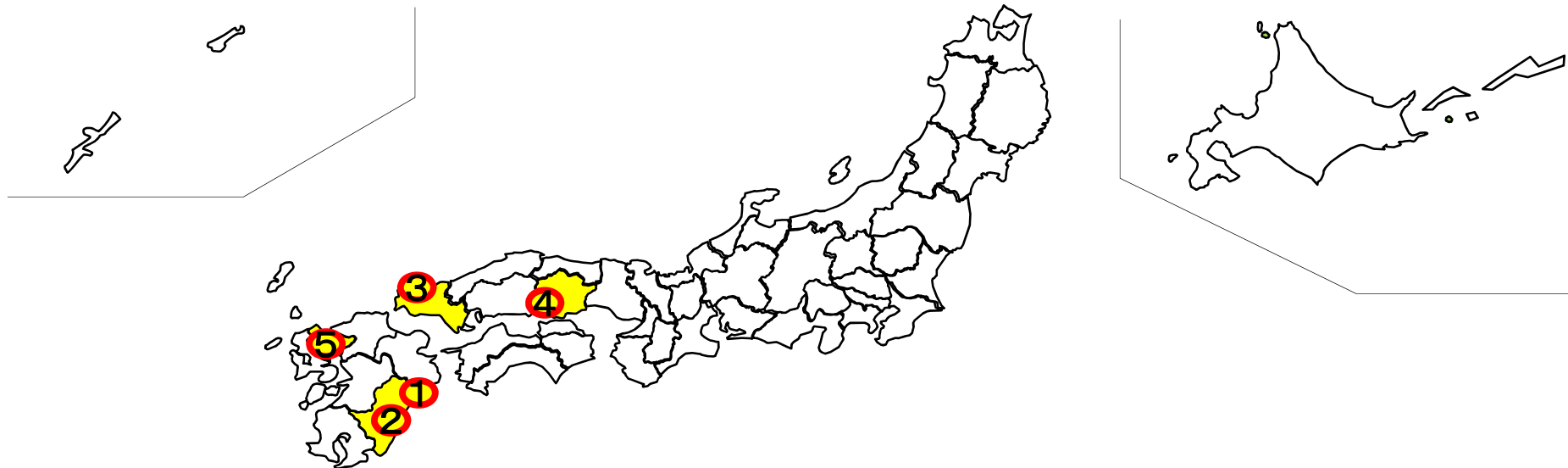
2015年3月23日時点

発生概要				防疫対応状況				
事例	発生日※1	発生場所	飼養羽数/種別	防疫措置 (殺処分、消毒等)	終了	清浄性 確認検査	搬出制限区域 解除	移動制限区域 解除
① 宮崎県 1例目	2014年 12月16日	宮崎県 延岡市	3,870羽 肉用種鶏	12月16日完了		12/27～12/31	12月31日解除	1月7日0時解除
② 宮崎県 2例目	2014年 12月28日	宮崎県 宮崎市	42,155羽 肉用鶏	12月29日完了		1/9～1/13	1月13日解除	1月20日0時解除
③ 山口県	2014年 12月30日	山口県 長門市	32,770羽 肉用種鶏	1月1日完了		1/12～1/16	1月16日解除	1月23日0時解除
④ 岡山県	2015年 1月15日	岡山県 笠岡市	199,160羽 採卵鶏	1月23日完了		2/3～2/7	2月7日解除	2月14日0時解除
⑤ 佐賀県	2015年 1月18日	佐賀県 有田町	72,900羽※2 肉用鶏	1月20日完了		1/31～2/5	2月5日解除	2月11日0時解除

防疫対応終了

※1 遺伝子検査(各県で実施し、結果等について(独)動物衛生研究所より技術的助言)によりH5亜型陽性(疑似患畜)と判明した日

※2 関連農場(飼養管理者が発生農場の飼養管理をおこなっていたため、疑似患畜の発生農場と判定される農場)を含む



韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型)の発生状況 (2014年1月～)

家きんでの確認件数: 345件

京畿道: 47件

仁川広域市

ソウル
特別市

江原道: 1件

忠清北道: 93件

慶尚北道: 3件

大田広域市

大邱広域市: 1件

世宗特別自治市: 4件

忠清南道: 31件

全羅北道: 60件

(初発)2014年1月16日
全羅北道 高敞(コチャン)郡

全羅南道: 97件

蔚山広域市: 3件

釜山広域市: 1件

(再発)2014年9月24日
全羅南道 霊岩(ヨンアム)郡

光州広域市

慶尚南道: 4件

済州道

- : 家きんでH5N8が確認された市・郡
- ★ : 野鳥でH5N8が確認された市・郡
- : 家きんでH5N8が確認された道・特別自治市等

※ 日付は申告日

※ 下線は更新点(3月13日時点から)

※ 出典: 韓国農林畜産食品部 等

【家きんでの発生・対応状況】

1 発生状況(3月23日時点)

- ・韓国当局の公表している発生件数: 37件
- ・他に、発生農場周囲・疫学関連農場等308件でH5N8亜型鳥インフルエンザが確認。

2 殺処分(3月21日時点)

- ・1,799万羽(713農家)
- 〔2014年9月3日まで: 1,396万1千羽(548農家)
2014年9月24日以降: 402万9千羽(165農家)〕
- ・発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(500m又は3km内を対象)

3 その他

- ・9月4日、全ての移動制限が解除されたが、9月24日、2か月ぶりに再発
- ・9月以降、133件の確認(3月23日時点)

家きんの種別確認件数(345件)

その他(16件)

鶏(67件)
あひる(262件)

【野鳥での検出・対応状況】

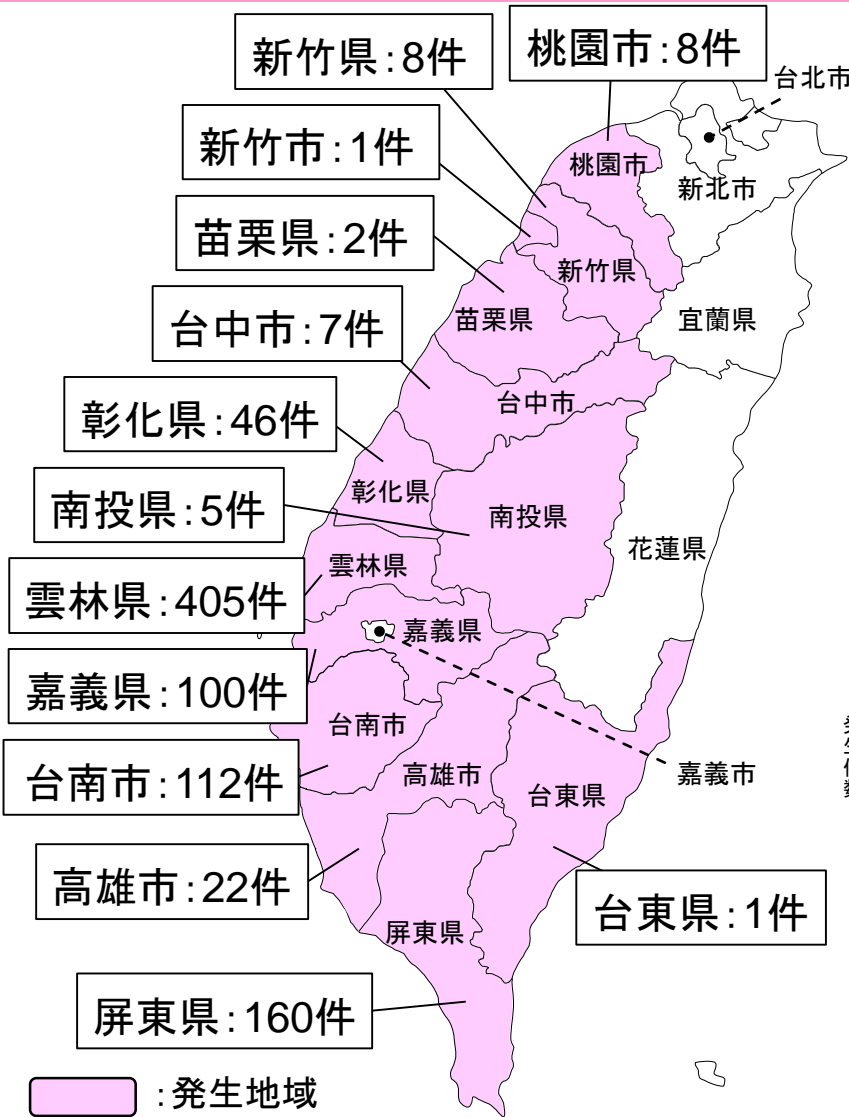
1 野鳥検査(3月21日時点)

- ・陽性: 58件(トモエガモ10件、マガモ9件、カルガモ5件、ヒシクイ5件、コガモ4件、マガン2件、オオハクチョウ1件、ダイサギ1件、カイツブリ1件、オオバン1件、アオサギ1件、オカヨシガモ1件、ヒドリガモ1件、糞便等16件)

2 対応

- ・野鳥の検出地点から10km内の家きん農場の移動制限措置、30km内の家きん農場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒

台湾における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(2015年1月～)



合計: 877件※(農場・処理場・係留場)

血清型

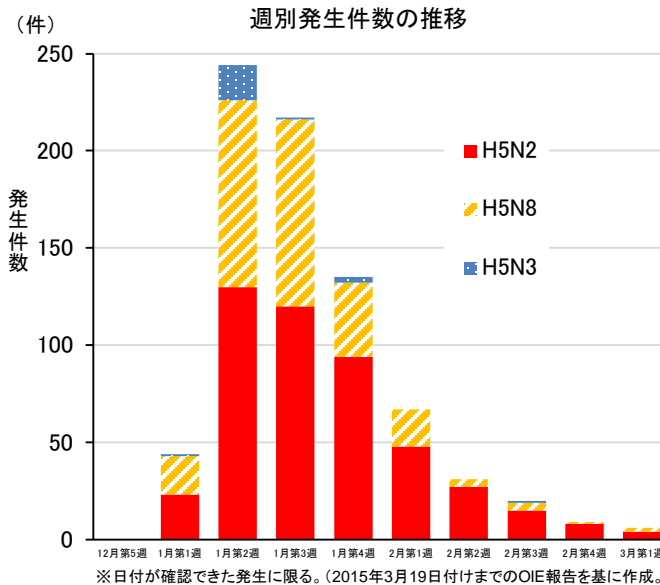
- ・H5N2*
- ・H5N3
- ・H5N8
- ・H5N2/H5N8混合感染
- ・H5N2/H5N3混合感染
- ・H5**

※発生件数の血清型別の内訳は未確定

*過去に台湾で検出されたウイルスによる感染及び過去に台湾で検出されたウイルスとの混合感染を含む

**N亜型・病原性未確定

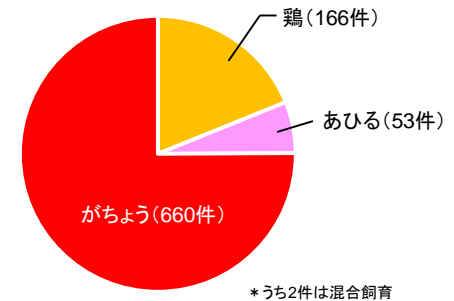
殺処分完了: 874件(440万4,379羽)



○野鳥における検出(8件)

確定日	場所	亜型	鳥種
3/16	高雄市高屏溪	H5	不明
3/1	台南市安南区	H5	クロツラヘラサギ
2/1	台南市七股区	H5	クロツラヘラサギ
1/30	台東県台東市	H5N2	ゴイサギ
1/19	屏東県長治郷	H5	ツグミ
1/18	苗栗県竹南鎮	H5N3	シロガシラ(3羽)

家きんの種別確認件数(879件*)



台湾における種別飼養状況

	鶏	あひる	がちょう
飼養戸数	5,798	2,816	971
飼養羽数(万羽)	9,213	962	177

※2015年1月15日の台湾当局公表資料を基に作成

出典: 台湾行政院農業委員会動植物防疫検疫局、OIE

2015年3月19日18時現在

注: 本図のH5N2及びH5N3亜型ウイルスは、過去に台湾で確認されたウイルスと異なり、これらウイルスのH5遺伝子は韓国

のH5N8亜型ウイルスのH5遺伝子と近縁。

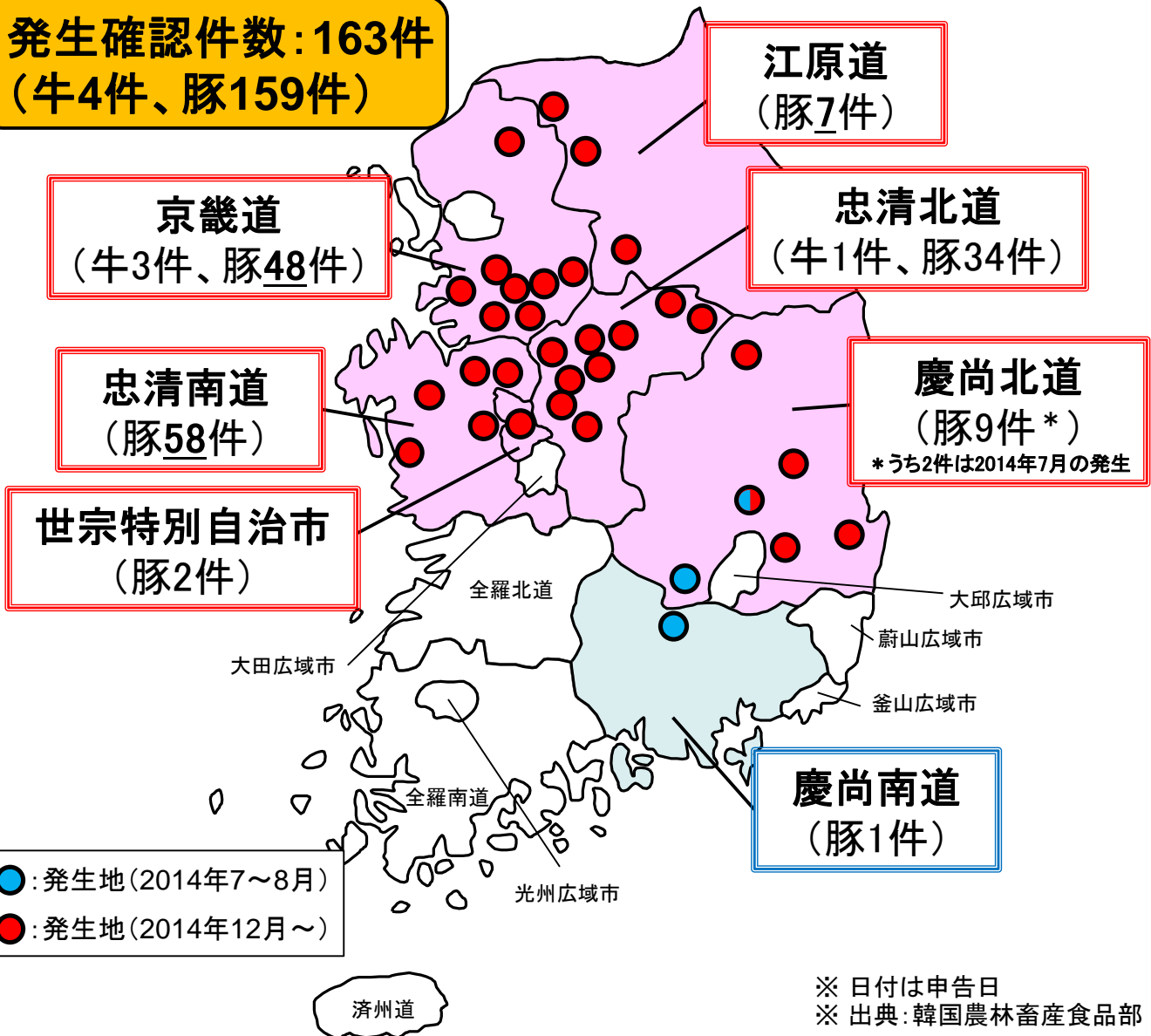
以下については、本図に記載していない。

①1月6日屏東県の採卵鶏農場で発生した従来型(1件)。

②発生農場の半径1km以内の家きん農場におけるサーベイランスの結果、26農場でH5亜型のウイルスを検出。

韓国における口蹄疫の発生状況 (2014年7月23日～、O型)

**発生確認件数: 163件
(牛4件、豚159件)**



※ 日付は申告日

※ 出典: 韓国農林畜産食品部 等

- ・2014年7月23日に慶尚北道で3年3か月ぶりに再発し、同年8月までに慶尚北道及び慶尚南道で3件(豚3件)の発生が確認(O型)。(同年9月4日、全ての移動制限を解除。)
 - ・2014年12月3日以降、忠清北道、忠清南道、京畿道、慶尚北道、世宗特別自治市及び江原道で160件(牛4件、豚156件)の発生が確認(O型)。
 - ・韓国では2010年12月以降、牛・豚・山羊・鹿に対して3価混合ワクチン(Asia1型・A型・O型)を接種
 - ・韓国当局は、農林畜産食品部及び検疫本部に口蹄疫防疫対策本部及び口蹄疫防疫対策状況室を設置し、家畜疾病危機管理標準マニュアル、口蹄疫緊急行動指針(SOP)に基づく措置等を実施。
- 発生農場: 抗原検出家畜及び臨床所見を示す家畜(状況に応じてこれら家畜の同居群)の殺処分・埋却、
畜舎内外の消毒、家畜・車両等の移動制限措置 等
- 発生・隣接地域: 追加ワクチン接種、血清モニタリング検査及び臨床観察の強化 等
- 全 国: ワクチン接種の徹底、畜舎内外・車両等の消毒徹底、畜産農家の集会の自粛 等
- ・12月17日、韓国政府は危機段階を、「注意」から「警戒」に格上げ。

【これまでの経緯】

- ・2010年11月～2011年4月に発生した口蹄疫は、全8道のうち2道(全羅北道、全羅南道)と済州島を除き、韓国全土にまん延(O型、牛・豚)。
- ・韓国は2014年5月のOIE総会で口蹄疫ワクチン接種清浄国に認定。